

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

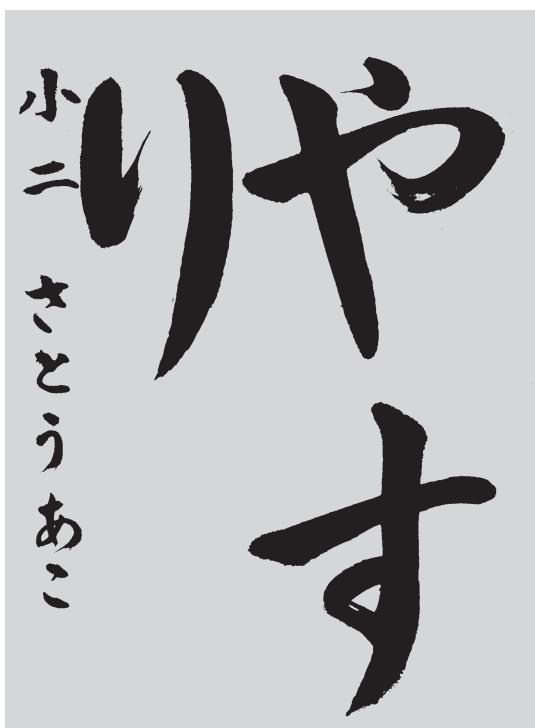


大隅晃弘先生

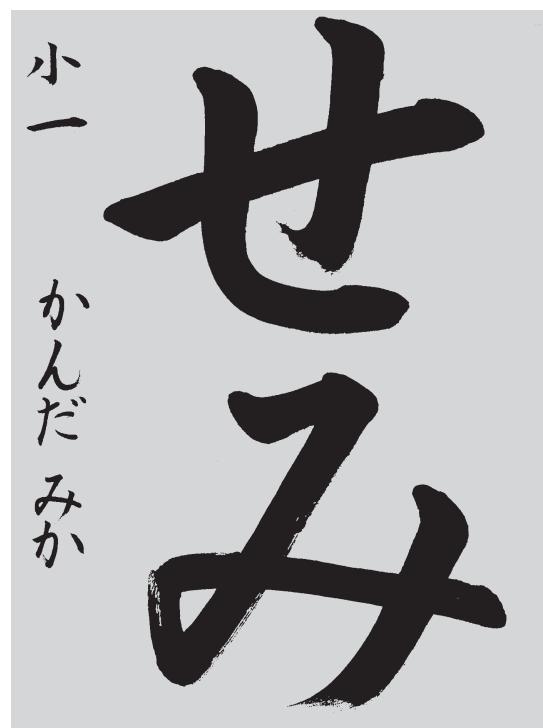
幼・小学1年参考手本



田村鄭雲先生



千葉蒼玄先生



坂本素雪先生

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学4年参考手本



小竹石雲先生

小学3年参考手本



加藤眺溪先生



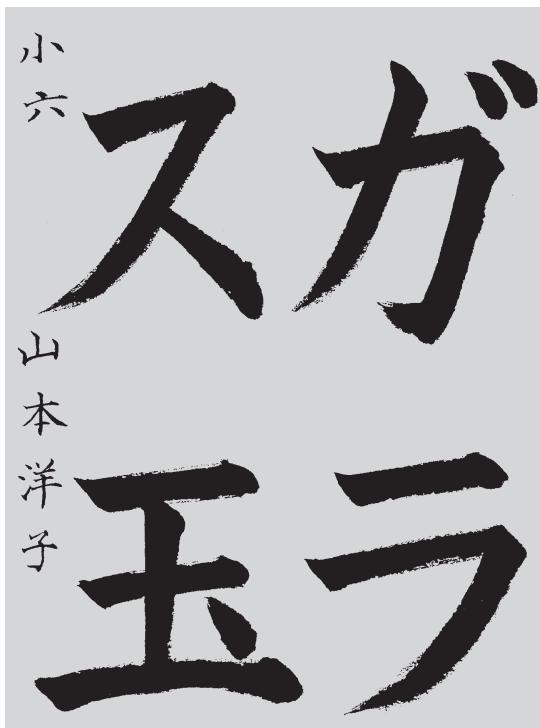
広瀬舟雲先生



佐藤菜扇先生

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学6年参考手本



小林琴水先生

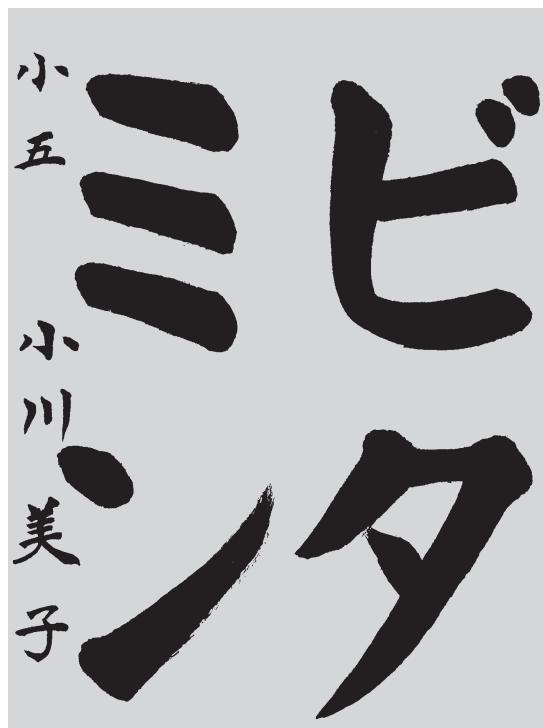
小学5年参考手本



名越蒼竹先生



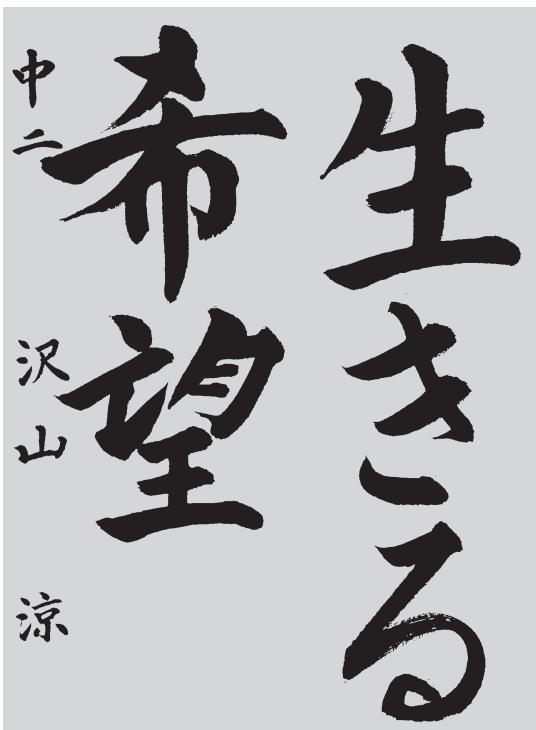
大野祥雲先生



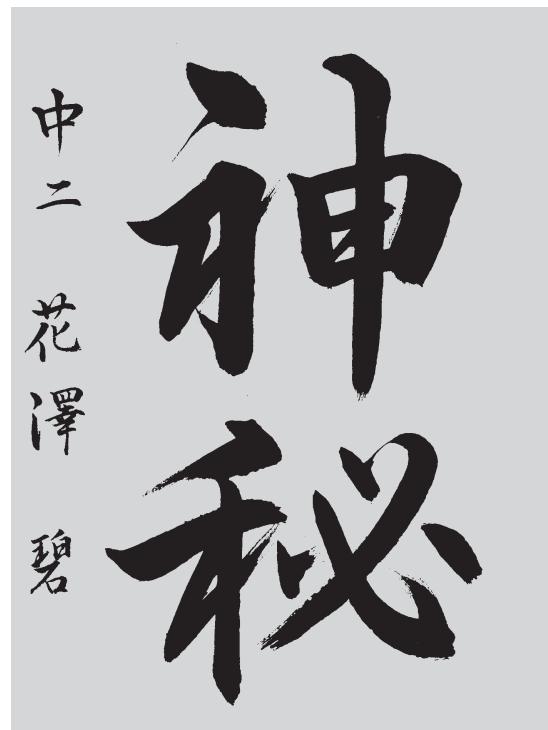
辻元大雲先生

〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

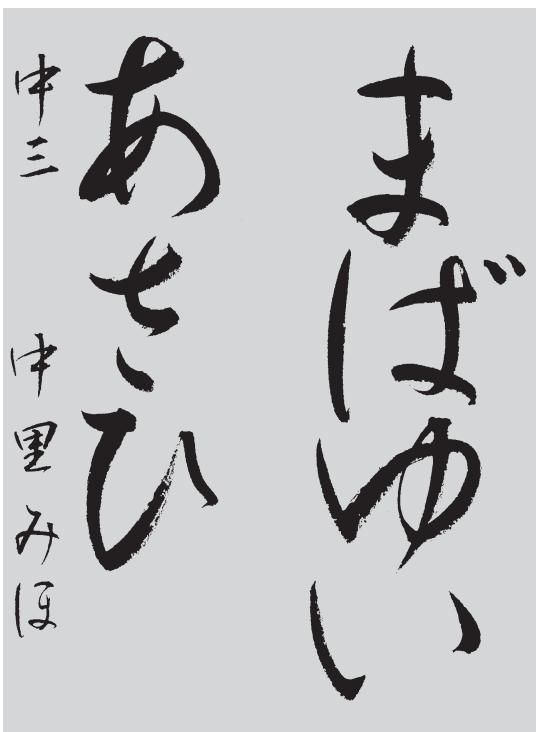
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



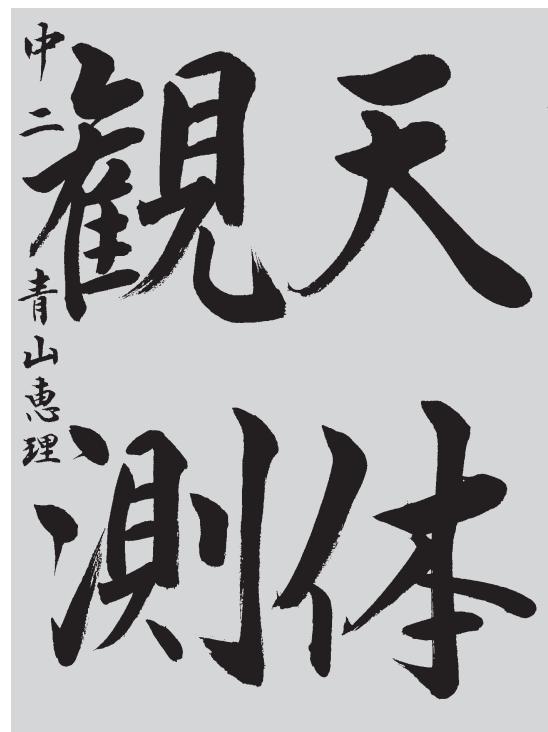
最首翠風先生



小川弘舟先生



下谷洋子先生



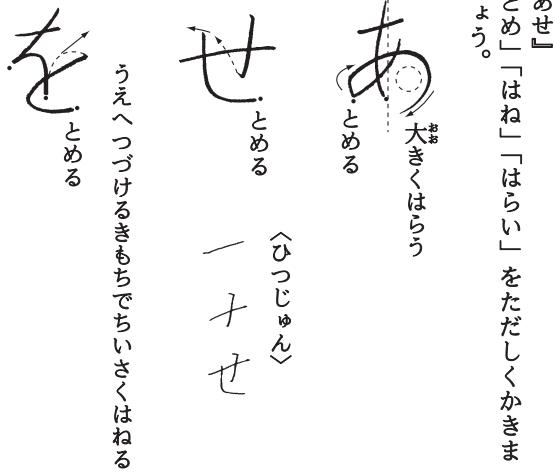
島田白露先生

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

[8月10日締切課題]

幼・小学1年



- ◎各学年に「学習のめあて」をつけました。
「なにをれんしゅうするか」をはつきりして一生けんめい書きましょう。
- ◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。
- ◎学年は漢数字(1・2・3……)、級は算用数字(10・9・8……)、段は漢数字(1・3・4)と記入。
- ◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。
- ◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。
- ◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。
- ◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。

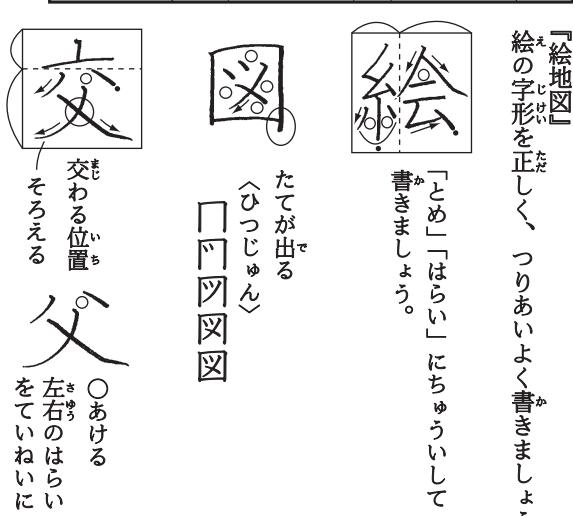
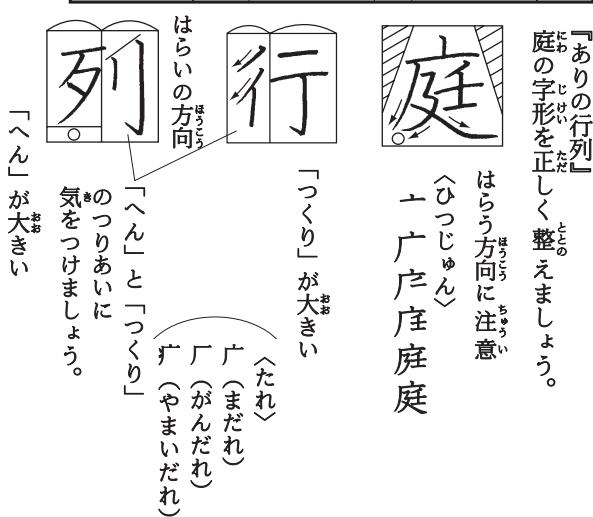
〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学3年

小学2年

支部名	の		
段・級	行	庭	
学年	列	の	す
三	を	み	み
名前	見	で	で
小早川	か	、	、
陸	け		
	た	あ	り
		り	。

支部名	地		
段・級	図	を	
学年	交	か	
二	か	ら	
名前	ん	さ	
千光寺じゅり	ん	が	
	し	し	
	た	の	
		絵	
			。



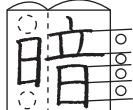
〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学5年

小学4年

支部名	る	ね	ム	
段・級	と	て	サ	
学年	活	い	サ	
五	動	て	ビ	は
名前	を	、		、
木村明美	始	夕		昏
	め	方		間
	る	暗		は
		く		
		な		

支部名	虫	て	田	
段・級	が	い	や	
学年	や	る	畑	
四	つ	と	で	
名前	て	、	作	
北原希子	く	、	物	を
	る	、	育	て
		。		



『ムササビ』
「へん」と「つくり」のゆずりあいを理解
して字形を整えましょう。

「日」の大きさと位置

「へん」と「つくり」の組み立てに注意して書きましょう。
つくり「力」下へ
最後の画の方向と長さ大切

△ 横が出る
△ 橫が出る
△ たてが出る
△ さんざい の形
△ 三角形になるように書く



二画目を長く書く

「勿」ななめ分間に氣をつける

火(ひへん)の方向に注意

『田畑の虫』
漢字の組み立てに氣をつけてつりあいよく
書きましょう。

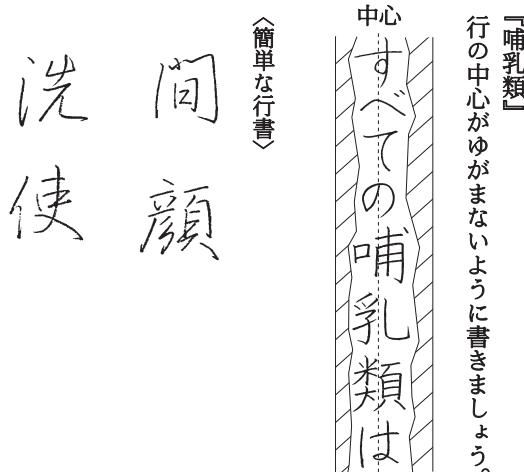
〔8月10日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生

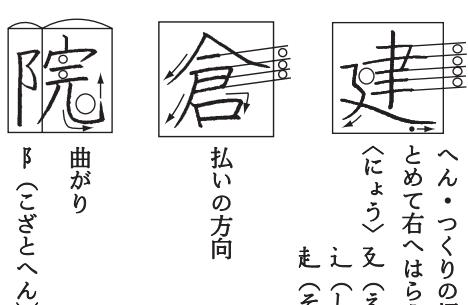
小 学 6 年

支部名	
段・級	
学年	
中二	
名前	森田 花恋

すべての哺乳類は、毛づくろい
をします。人間も、顔を洗い、くし
を使ってかみの毛をとかします。



支部名	
段・級	
学年	
六	
名前	板原 幸太郎



『正倉院』
「倉」「院」の字形を正しく整えて書きましょう。

へん・つくりの幅
とめて右へはらう
△(えんによう)
△(しんによう)

走(そうによう)

筆順を学ぼう ⑩

[8月10日締切課題]

中学生(行書)

6年	5年	3年
成 達	登 氷	
中 学		
望 希 観 祕		

支部名	使つてかみの毛をとかします。
段・級	
学年	
中三	
名前	夏山 悠

中学生の硬筆、七回目の
行書手本です。
新年度より二ヶ月に一回
行書を掲載します。中学
生は、楷書・行書の両方
に挑戦してください。

行書を学ぼう

(216)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」



ひらがなの字源

(216)

書写教育
全国大学書写書道教育学会編より転載

ひ	さ	あ	い	ゆ	ば	ま	源字	字形
比	左	安	以	由	波	末	ヒ	さ

* 源字については、異字体から変遷したものに *印をして()にその字体を記した。
* 字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

第69回書道芸術院展併催

第67回 全国学生書道展作品募集規定（抜粋）

会期 平成28年2月17日（水）～2月21日（日）9：30～17：30

（入場は30分前まで）

ただし、2月21日は14：00まで（入場は30分前まで）

会場 東京都美術館（東京都台東区上野公園）

参加資格 第1部 幼児・小学生

第2部 中学生

第3部 高校生

第4部 大学生・専門学校生

（前回までの大賞受賞者は、同一部門内（例 第1部小学生部の内）においては招待出品とします。出品料は無料）

部門 ① 半紙部門（たて34cm よこ25cm）

② 半切1/2部門（70cm×35cm）

（どちらの部門にも出品できます。）

	半紙部門	半切1/2部門
出品点数	・一人何点でも出品できます。 ・団体、個人とも10点以上で参加できます。	・一人2点まで出品できます。 ・団体、個人とも1点以上で参加できます。
出品料	・1点 500円	・1点 1000円（一人2点まで）
募集作品	1 書写、書道作品、書体文句は自由 2 毛筆、硬筆など表現自由。 3 幼小中学生は <u>学年氏名を本人が書く。</u> 4 高校、大学生は落款の体裁を整える。	1 幼児・小・中学生は <u>別紙規定課題</u> を書く 2 高校、大学生は <u>課題自由</u> （創作または臨書） 3 幼小中学生は <u>学年氏名を本人が書く。</u> 4 高校、大学生は落款の体裁を整える。
作品大きさ	・普通の半紙版以内（たて長使用） (たて34cm よこ25cm以内) (この大きさ以内の小さいものは半紙に糊付)	・小画箋半切1/2以内（70cm×35cm） ・幼児・小・中学生は縦長使用に限る（課題有） ・高校・大学生は縦横自由（創作臨書自由） (この大きさ以内のものは半切½に糊付)
出品要領	1 同一人の作品は左上をゼムクリップ止め 2 作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 (①～③は内申上位1割について記入) ④ 代表番号 ⑤ 作品番号 ※多数出品の場合も1枚ごとに全て記入 ※代表番号は出品予約申し込みにより通知。	1 同一人の作品は左上をゼムクリップ止め 2 作品の表に黒鉛筆で下記の①から⑤を記入 ① 校名 ② 学年 ③ 名前 (①～③は内申上位1割について記入) ④ 代表番号 ⑤ 作品番号 ※2点出品の場合も1枚ごとに記入 ※代表番号は出品予約申し込みにより通知。

作品締切・搬入

日 時 平成27年10月26日（月）

場 所 〒101-0031

東京都千代田区東神田1-16-7 東神田プラザビル3階

公益財団法人 書道芸術院内 全国学生書道展事務局

審 査

日 時 平成27年11月5日（木）～8日（日）

「全国学生書道展指導者作品展示」

同じ会場で、教えた者と、教えられた者がいっしょに展示されることによって、より親しみがわく展覧会です。「育てる」ではなく、「共に育つ」ように工夫する。指導者と子どもが同じように悩み、同じように苦しみ、同じように喜びを味わって成長していくことを心がけています。

・出 品 資 格

- ・本展出品指導者
- ・「書道芸術学生版」支部指導者
- ・書道芸術院審査会員

・会 期

- ・平成28年2月17日(水)～2月21日(日)

・会 場

- ・第67回全国学生書道展会場
(東京都美術館)

・作 品 寸 法

- ・半紙額内自由
(額内寸 50 × 38 cm 以内)
(タテ・ヨコ自由)

・マクリのまま出品

(本院で一括表装依頼)

・出 品 料

- ・15,000 円

(1人1点、表装料・返送料含む)

・出 品 手 続き

- ・出品要項、出品票等を出品資格者へ別便にて送付する。
- ・必要な方はご請求ください。

・出 品 締 切

- ・平成27年10月26日(月)

(学生展作品と同じ)

- ・詳しくは別紙要項をご覧ください。

漢字に親しもう

65



八月号六年生の毛筆課題『達成』にスポットを当てて、成り立ちから使い方まで学んでみましょう。

達

おん
くん
タツ
辶 (しんによつ)
画数 12

いみ・じゅくい

羊 (＝ヒツジ)と大 (＝ゆとりがある)と、辶 (＝すすむ)を組み合わせた字。ヒツジのお産がかるいように、ものごとがすらすらとうまくいくことをあらわし、「たつする」「とどく」のいみになつた。

①やりとげる。——達成 (たっせい)・調達 (ちょうだつ)・米達 (まいだつ)
②とどく。いたる。——達觀 (たつかん)・配達 (はいでん)
③すぐれた。——達人 (たつじん)・達筆 (たつひん)・練達 (れんたつ)・熟達 (じゅくたつ)
④告げ知らせる。——通達 (とつだつ)・伝達 (でんたつ)
⑤複数を表すことば。——友達 (ともだち)・子ども達 (たち)



成

おん
くん
セイ
戈 (ほこ)がまえ
画数 6

いみ・じゅくい

ヰ (＝おの)とノ (＝丁)。たたいて、まとめかためる)を組み合わせた字。ものごとをなしとげるといういみをあらわす。

「しあげる・しあがる」「なりたつ」など

のいみがある。



○春季昇級試験の総評を審査長辻元大雲先生から頂きました。良く読んで今後の学習の参考にしてください。今回特待生合格者の氏名と毛筆硬筆、小6と中3の最優秀作品を当番審査員の先生のコメントを添えて掲載しました。おめでとうございます。秋季昇級試験では毛筆の参考手本も準備しています。

○来年の2月に上野の東京都美術館で開催される第67回全国学生書道展の要項を掲載しました。半紙の部と半切1/2の部があります。今から準備して力作を多数お寄せください。作品の締め切りは、10月26日(月)です。

○先日、久しぶりに東京ドームへプロ野球セ・パ交流戦巨人西武戦を観戦してきました。バックネット裏の前から10列目、選手の表情がはつきりとわかる席で、選手が皆大きいのにピックリしました。また、ピッチャーの150キロ級のストレートもものすごく速かったです。結果は、4対1でジャイアンツの勝利。とても楽しい一時を過ごす事が出来ました。

(鄭街)